

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

期日：平成27年6月5日(金)

場所：高松小学校 体育館及び各教室

対象：出雲市立高松小学校6年生 112名

指導者：池淵・神柱・川原(埋文センター)

和田・森山・内田睦・橋本(高松小)

1 主題 「ふるさと島根や出雲の古代の歴史にふれよう」

2 ねらい

- 島根や出雲の歴史を知ることとおして、地域の文化財や歴史への興味・関心を高めるとともに、ふるさと島根や出雲に対する誇りや愛情をもつ。
- はにわ作りを行うことにより、古代の生活にふれ、人々の知恵や願いについて考える。

3 展開

時刻	主な学習活動	指導者の支援・留意点	準備等
13:30	1. 学習活動の見直しをもつ。 (体育館) ・GT及び埋蔵文化センターの紹介を聞く。 ・学習の流れをつかむ。	・GTへの信頼感を高めるために、文化センターの仕事や研究成果等を話す。(高松小) ・学習の流れを明確につかむために、流れを掲示する。(高松小)	予定表
13:35	2. はにわについて学ぶ。 (体育館) ・はにわについての話を聞く。 ・学校周辺の遺跡について学ぶ。	・はにわの種類などについて説明するとともに、製作の参考となる人物はにわの資料を提供する。(GT) ・学校周辺の白枝本郷遺跡について紹介する。(GT)	プロジェクター PC 資料 出土品
14:10 14:30	3. 出土品や資料を見学する。 ・クラスごとに、土器を手にとって見学する。 (休憩・移動) 4. はにわ作りをする。(各教室) ・はにわの作り方の説明を聞く。 ・はにわを製作する。 ・片付ける。	・3か所のテーブルにはにわをおき、テーブルごとに説明する。 (白枝本郷遺跡の須恵器、土師器) (古曾志1号古墳の円筒はにわ) (粘土で作った人物はにわ) など ・はにわの作り方について説明するとともに、古代の人々の思いや願いなどが考えられるようにする。(GT) ・スムーズに作業に取り掛かることができるようにはにわの下書きを準備する。(高松小) ・古代人の知恵や技能、願いなどを取り入れた作品を肯定的に評価して紹介し、思いや理解を深める。(GT, 高松小)	出土品 人物はにわ はにわの下書き 粘土 粘土板 粘土へら 水入れ のぼし棒 施文具 タオル
16:00	5. 学習をふり返り、感想を発表する。 (各教室)	・「わかったこと」、「よかったこと」、「楽しかったこと」など、項目に分けて尋ね、発表しやすくする。(高松小)	

4 準備

(高松小) 粘土板、粘土へら、雑巾、プロジェクター、スクリーン、PC、長机7脚

(児童) 筆記用具、タオル、水入れ、体操服、はにわの下書き

(埋蔵文化センター) 遺物、遺跡関係資料、はにわの見本、はにわ用粘土、粘土芯、のぼし棒
施文具(はにわへの模様付けの道具)、アンケート用紙(別紙)